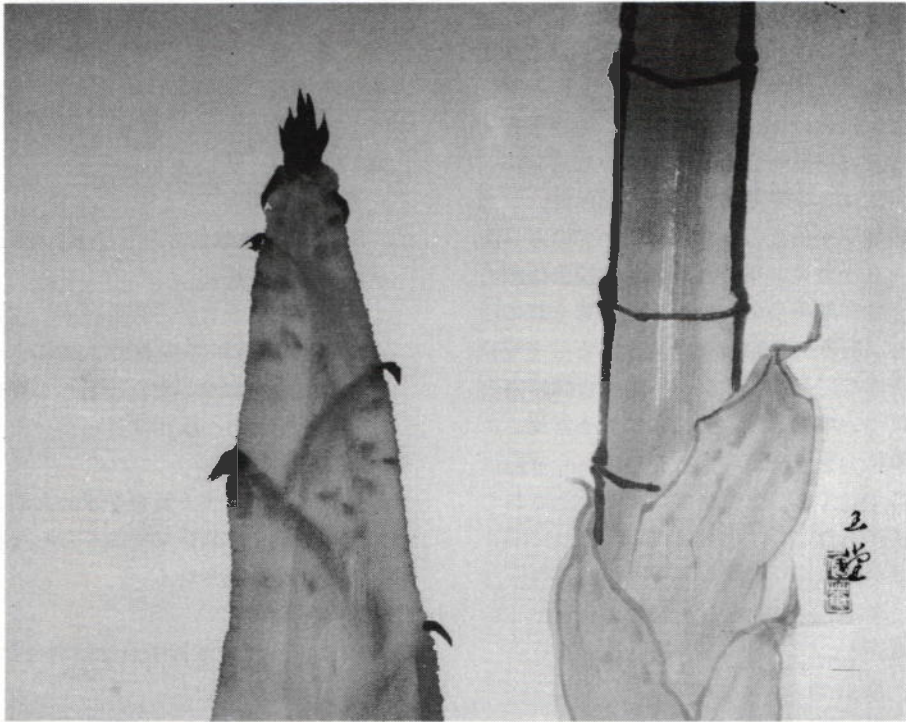


西多摩医師会報

第56号 昭和52年5月



竹の子 川合玉堂

目次

昭和51年度定時総会議事録.....	2	新中国23日間見て歩き(第8回)	
昭和51年度総会記事.....	3	東青梅病院 加藤 出.....	11
参議院議員選挙に臨みて		理事会報告.....	13
会長 高水武夫.....	5	医師会日誌.....	14
自由開業医制度を死守する		囲碁部急報!!.....	15
福島茂夫先生の横顔	6	深山秀憲.....	
ノンポリノン		昭和52年度歳入歳出予算(案).....	16
— 参議院選挙に想う —	7	西村邦康.....	
学術講演会.....	9	理事職務分掌表.....	18
われらノンポリ.....	10	松原貞一.....	
松原貞一.....	10	前回参議院選挙得票決定一覧表.....	19
		西多摩地区得票一覧表.....	20

昭和51年度定時総会議事録

日時 昭和52年3月26日

会場 西多摩医師会館講堂

1. 開会 宣言 副会長 山田 正 哉

1. 挨拶 (要旨) 会 長 高水 武 夫

1年1度の本総会は好晴に恵まれて結構である。会長就任以来5年になる、両副会長や役員諸氏のご協力によって大過なく勤め来り、その間東京都医師会との一体化も行なわれ、地域医療全般に亘る管内保健所との連絡会での意見交換、管内各自自治体との定期的折衝で学校保健、予防接種等地域厚生福祉の全分野に就いての意見調整、6・9ヶ月児健康診査事業・学校医報酬の均等化、管理職手当の支給等本会事業全般に就き報告し、来るべき52年度予定事業として東京都医師会学校医会への入会、休祭日夜間診療の実施等について、又医政連活動につき言及、これら各項につき尚一層の協力を懇請、今日提出の案件についても、慎重審議の上で承認されたい旨の挨拶あり。

1. 議長団着席 議 長 香西 盛長

副議長 栗原 三省

1. 資格審査 議 長 香西 盛長

① 現会員総数 207名

② 出席会員 34名

③ 委任状提出者 大原芳雄以下92名

これをもって本総会の成立した旨宣告

1. 議事録署名人 指名 議長 香西 盛長

次の兩名を署名人に指名。夫々の承諾を得て決定する。

議事録署名人 堤 次雄

同 波田野洋夫

1. 報告事項

各部事業報告

総 務 部 部 長 福島理事

保 險 部 部 長 箱崎理事

福 祉 部 部 長 川崎理事

経 理 部 部 長 江本理事

広 報 部 部 長 大河原理事

産業医部 部 長 内山理事

公衆衛生部 部 長 松原理事

学校医部 部 長 速水理事

学 術 部 部 長 西村理事

以上各部長、印刷資料に従って詳細説明、報告を行なう。

1. 議 事

1) 第1号議案

昭和51年度歳入歳出予算案の補正するに付承認を求むる件。

議案説明(要旨) 会計理事 江本虎雄

昭和50会計年度決算で、51年度予算の前年度繰越金が増加したため当この剰余金は敷地拡張特別会計へ繰出す件について予算書に従って説明。

議長は本件に対する質疑を求めたが、質疑、意見なく、よって議長は採決をなし全員拍手をもって本案件承認される。

2) 第2号議案

昭和51年度敷地拡張資金特別会計予算案の承認を求むる件。

議案説明(要旨) 会計理事 江本虎雄

(別紙予算書通り)見透しとしては昭和52年度中には返済可能の旨説明あり。

3) 第3号議案

昭和52年度各部事業計画案につき承認を求むる件。

議案説明(要旨) 副会長 山田正哉

各部について読上説明する。

本件につき議長は全員に承認賛否を求めたが、全員拍手をもって賛成可決する。

4) 第4号議案

昭和52会計年度歳入歳出予算案の承認を求むる件。

議案説明(要旨) 会計理事 江本虎雄

会費については前年度比較約15%増を見込

み、支出も大体においてこの線で組んだと詳細は印刷資料について説明。

本件の質議の有無を議長が訊したのに対し会員の中から多数の拍手をもって本件承認の意志表示あり。よって議長はこの点確認可決する。

5) 第5号議案

東京都医師会長より委託を受けた東京都医師会代議員の選出の件。

議案説明(要旨) 総務理事 福島大寿

印刷物で各員に渡してある立候補者名簿記載のとおり本会から選出する代議員および予備代議員の数は夫々2名宛であるので、定数内の立候補であるとの説明あり。

議長はこれに就き無投票当選と決定してよろしいか・否かを議場に諮り、全員異議なく可決、当選者次のとおり

東京都医師会代議員	高水 武夫
同	瀬戸岡 進
東京都医師会予備代議員	大河原 周
同	菱山 正治
	以上

6) 第6号議案

本会定款施行細則の1部を改訂する件につき承認を求むる。

議案説明(要旨) 理事 川崎健一郎

定款研究委員会の対決の結果答申されたもので改訂点は、同細則第1条「地区会を置く」の次を、

東部地区会(福生市、羽村町、瑞穂町、各医師会)

西部地区会(青梅市、奥多摩町各医師会)

南部地区会(秋川市、五日市町、日の出町、
松原村各医師会)

と改める。 以上

本案件に対し若干の質問あり夫々担当者より回答をなし次いで議長は本件の採決に移り賛成の者は挙手を求めたが、挙手多数で本件承認可決。

7) 昭和52年度より東京都医師会学校医会入会および東京都学校保健会の財団法人化に伴う寄付金につき承認を求むる件。

議案説明(要旨) 会長 高水武夫

学校医手当につき自治体と繰次交渉を重ねて来た経過を説明、昭和52年度は年間約36万円に決まったこと、並びに園医手当については、私立幼稚園協会の幹部と数次会佐を持ったが仲々結着が付かず51年度は妥結の運びに至らなかった。52年度は各市町村毎に夫々の医師会で交渉して纏ったところから順次取極めて行くようにしたい。そこで学校医の研修について、学校保健法の改正もあることだし、昭和52年度より東京都医師会の学校医会に入会し、その研修会を研修の場として活用したいので、この件ご承認を願いたい。

発言(要旨) 副会長 瀬戸岡進

補員説明あり南部地区としては自治体別ではなく地区会として交渉に当る旨付言

以上により議長は本件の採否を問い全員拍手をして本件可決承認される。

1. 閉会挨拶 副会長 山田 正哉

本総会の議案の審議の全てを終了する。

1. 議長団退席

昭和52年3月26日

議長 香西 盛長

副議長 栗原 三省

議事録署名人 堤 次雄

同 波田野洋夫

昭和51年度 総 会 記 事

51年度定時総会は3月26日、午後2時より式次第に則り開催された。

会長挨拶の要旨 過去一年間を回顧し大過なくすごし得た点、両副会長、理事の協力を謝した。

都医師会との交流が大切と考え都医会長らを招き本会理事と懇談した。保健所、救急隊及び各自自治体とも定期的に会同している結果各種事業も順調に行われ、いろいろの手当の交渉もスムーズに行っている。災害時の医療に関しても研究中である。政治連盟に付ては、昨年は地区から国会議員を送り出し各位の努力に深謝する。参議院選挙にも対策委員の組織を作り最高点当選を計りたい。われわれ開業医の主張を通す為には国会議員の選出が必要であり、特に医療国営でも行われると、現在の開業医制度は根底から崩れてアラ。会員の親睦に付ては家族ぐるみの施行などを通じ家族同志の交友を計り、これにモータリスト連盟も協力して頂いている。対税問題に付ても研究して万全を期したい。校医手当は、本会傘下平等が信念であった。管理職手当も自治体の理解で実現したが、学校医会に参加して自治体の信頼にこたえたい。来期は全員が都学校医会に加入を願いたいと考えている。各位誰もが何時か校医になる事でもあるから。休祭日の夜間診療も体制が出来た、担当病院の努力を感謝する。公衆衛生面も効果を上げている、各位の努力を謝す。地域住民のための平日の夜間診療の件も各位の努力を得たい。会報は努力の結果毎月発行され、一同のたのしみになっている。永久に発行してほしい。

会館敷地買収費の件6, 9児検診料その他に付ての各位の協力により、52年度半ばには完済出来る予定である。当会館も古くなったので新築も必要になる。今后若い方々の努力を期待したい。終りに本会の発展と各位の健康を祈ります。

次で各部事業報告がなされた。総務部(福島理事)、保検部(箱崎)、学術部(担当者出席なく略)、福祉部(川崎)、経理部(江本)、広報部(大河原)、産業医部(内山)、公衆衛生部(松原)、学校医部(速水)。

次で議案1, 予算補正案 江本理事説明。2, 敷地拡張資金特別会計予算案 江本理事。3, 各部事業計画案 山田理事。4, 52年度歳入歳出予算案 江本理事。いずれも異議なく承認。5, 都医師会代議員及び予備代議員選挙, 候補者無投票で当選決定。6, 定款施行細則の一部改正の案。解説すると、定款第一章 組織 第一條、本会は会員をもって組織し会務運営の円滑を期するため次の地区会を

置く。東部地区会(福生市, 羽村町, 瑞穂町)となっているが()内に福生市, 羽村町, 瑞穂町各医師会)と変更する件である。西部, 南部も同様。川崎理事より提案理由説明あり, 定款研究会で自治体との交渉その他寄附などの際も医師会名をつけた方が好都合であろうとの結論であった。これに対し百々瀬理事より Must なのか Better なのか。奥多摩町は会員も少く青梅の会に入っているが, 奥多摩町と相談の要あり。会長回答 合同で良い, 親睦の会として扱えば可。植田先生より質問一特来各地医師会が法人格をもつみかどうか。これに対し会長, 川崎理事より, 便利だからと言う事だけで, もし法人格をもつ事も, その時はその時の事で考えて良いとの答があった。議長採決の結果万場一致で承認。その他, 会長提案 学校医会に付て質の向上を計るため都学校医会に加入を承認してほしい。都の学校保健会にも加入する事になる。議長採決承認。

私立幼稚園手当の問題に付て

3月末までの期限で園側に申し入れてあるがまだ返答がない。止むをえないから各自自治体単位毎に交渉して当方からの申出をのんだ所は引続き就任してほしい。

午後3時45分瀬戸岡副会長より閉会の辞あり総会は無事終了した。

引続きモータリスト協会の総会が行われた。

木野村先生 決算報告, 堤先生 51年度事業報告, 近藤先生 52年度事業計画報告, 川崎自動車部長辞任, 近藤先生交代就任, 以上いづれも異議なく承認され, 総会終了した。

附, 高木先生より発言 運転車講習会出席者が少いので沢山出席して頂きたい旨発言あり。

川崎先生より, 役員管外旅行参加者が余りに少いので是非多数ご参加を乞う。

(編集部 平林記)

参議院議員選挙に臨みて

会長 高水 武夫

参議院議員選挙が愈々間近になりましたので、吾が西多摩医師会としても日本の自由社会を守り医療に於ける自由開業体制を守るため総力をあげて参議院議員選挙に臨まねばならないと考えます。

西多摩医師会は現在までの運動を結集する意味におきまして、今般別表の如く参議院議員選挙対策委員会をつくりました。各自治体毎の委員の方々の努力を願い各病院・開業医に働きかけて働き職場その他あらゆる機会をとらえて票獲得のため、最大の努力をお願いします。

数年前、三野党共同提案の医療国営に通ずる「医療保障基本法案」が参議員に提案され廃案となりましたが、今般又社会党が医療国営に通じしかも開業医師の出動を義務づける如き医療政策を示し、更に社会党は社会保険診療報酬についての

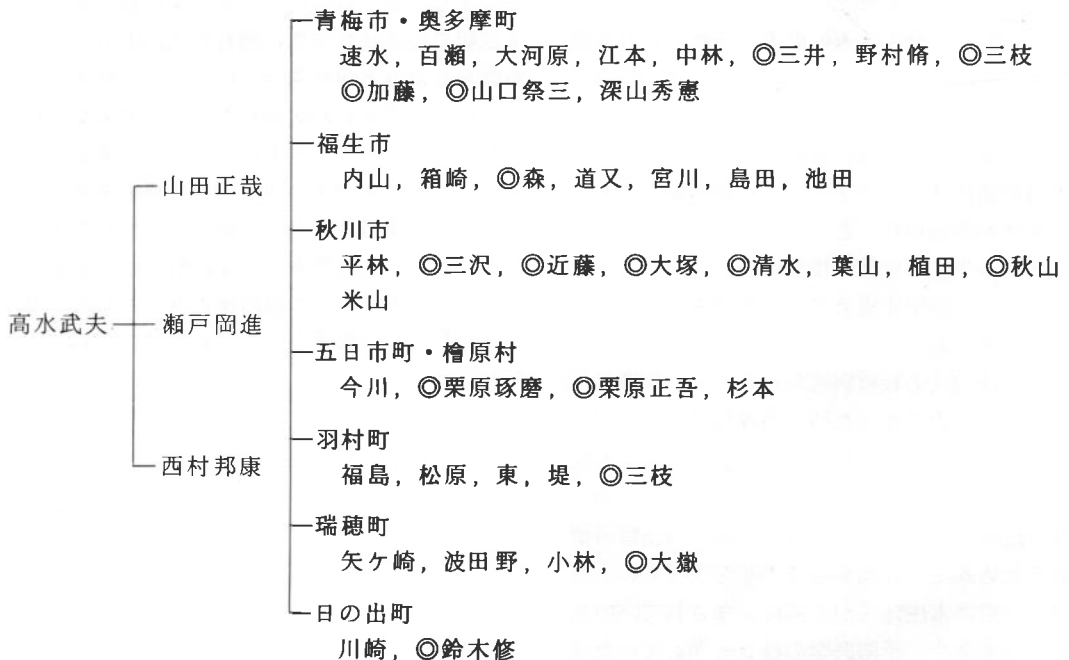
租税特別措置法の撤廃案を社会労働委員会に提出したと聞き、保革伯仲の国会の現在前記主旨の法案が、通過成立する危険充分ありと考えられます。

それこそ吾々開業制度は、最大の危機を迎えることになり、若し通過の暁には、日本医療は国営路線を走ることになると考えますので、我々は1人でも多くの我々の同志を国会の場に送り、保革逆転の阻止に遺漏のないことを期せねばなりません。

この重大時局に我々は益々結束を固め対策委員会をフルに回転して1票でも多くの票を集め、福島茂雄氏を最高点で当選させ国会の場に送るよう参議院議員選挙に万全の構えを期す覚悟でありますので、会員諸先生方の今後益々の協力と努力をお願い致します。

参議院議員選挙運動組織表

(◎印 日大出身)



自由開業医制度を死守する 福島茂夫先生の横顔

深山秀憲

昨年一月、日医が正式に福島茂夫先生の参院出場を要請する前に私は関連先の精神病院から上武精神病院の理事長をされている先生が出られるという話を聞いていた。当時から記銘減退気味の私は一回で先生の名前を覚えられず何回か聞き直していた。その焦りもあって早くから医師会の会合等で喋っていた為か今回突然福島茂夫先生のプロフィールの様なものを書けと命ぜられた。正に「口はわざわいのもと」。早速埼玉県医師会に連絡をとったところ心よく応ぜられ、広報担当の榎原景澄先生に長時間にわたり情報の提供を受けたので、それをまとめて責を免れたい。

福島茂夫先生の御略歴は種々なものに出ているのでこゝではふれず、実地医家福島茂夫先生の人となりを書いてみたい。福島茂夫先生は人が困っていると黙ってられない性格の方で、福島家の先代が戦死されて実子がなく養女一人で家が断絶すると聞き松本姓から入婿された、そこで誰からの援助もないところで奥さんと二人で埼玉県本庄市で開業された。全く一人の患者から始められたのである。埼玉県と云っても北部の本庄は、冬は上州の空気が吹きすさぶその寒さの中を一軒一軒往診されて地域に揺ぎない地盤を固めてゆかれた。その時の話にワイシャツ等の下に新聞紙を肌着の様に着込んでおられたという。寒さを防ぎ心よく往診される先生の生活の智慧に頭が下る思いがする。こうして信望を集めていった先生にも真にいきぎよい面がある。

それは母校日大の板橋病院が震災にあい灰塵に帰して診療も出来なかった時、再建の費用の4分の一を個人でポンと出したり、当時金があっても医療機械が買えずに困っていた生化学教室に自分の病院の医療機械を寄附したり、教室員の食糧事情を救うため本庄から米やニワトリをさげていったという。更に本庄地区が赤痢に悩まされていた時、地域の公衆衛生、予防医学の確立を期していた先

生は地元保健所の設立を考へ御自分の土地を寄附された事がある。これには後日譚があって、当時福島茂夫先生は医師会の役員でもなかったので保健所の落成祝賀会に招待されなかったので冗談に「口惜しいから寄附をしないよ」とからかった為、埼玉県も土地の譲り受けが出来ず結局ごく最近迄その土地の税金を先生が拂っていたという話がある。

今日埼玉、群馬における先生の事業成功のうらには福島茂夫先生の心に感じた人達の協力を見のがせない。先生は病院の職員の中から優秀な人に医学進学を全面協力し、今それらの人の中から3人の医師が先生の病院で活躍しているという。この金銭援助に際し福島茂夫夫人は面白い発言をされている。「お二号さんを持つよりよろしいのでは……。」と。

最近忙しくなられても先生は聴診器、注射器等を身近に持って居られて実地医家としての心構えをくずしておられない。こんな笑い話しがある。東京駅で心筋硬塞で急に倒れた人があり、先生が処置をしようと懐を開けていたところ抱きつきスリか何かと間違われ駅員がふっとんで来てどやされたという。とかく名士になり財が出来るとゾリッとして触れれば手の切れる様な背広を着るものだが、我が福島茂夫先生は貧しく汚れた患家に上り込みドカッと腰をおろして診察を始める膝の丸くなった服を着ていた為泥棒とみなされたのではないか？。常に医師としての心がけを忘れない人だと思う。

ノ　ン　ポ　リ　ノ　ン

— 参議院選挙に想う —

西　村　邦　康

例年ならば寒が明けまだ身を切られるような寒さの日に一輪一輪とはころび仕事に疲れた軀をなごませてくれる庭のシダレ梅も今年はいつになく遅く、あつというまに花ひらいてしまいやがて間もなくコブシの花、桜の花とうらかな春の日に替ってしまいました。

医師会の集りでも寒い内は少なかったゴルフの話題も増えて席を賑わすようになりました。

去年の今頃は2月のチャーチ委員会でのコーチン証言で『ピーナツ』『ピーシーズ』が突び出し『記憶に御座居ません』が流行りことばとなり日本国中がロッキードで持ちきりと云った頃でした。

社会の指導者、或はインテリゲンチヤを自負している我々医師は田中前総理逮捕が出てもわけ知り顔に売国的犯罪と簡単に云い切れる程政治機構は簡単なものではなく、もっと複雑なからみがあるのだろうと多少の野次馬根性を持ちながらクールに他人事に眺めて『マイ・クリニック』、或は『ゴルフ』に精を出してゐると思います。

このような我々の生活気分はいってみればオイルショックで打ちひしがれた筈の高度成長経済の余燼を8兆円と云う医療費に支えられて花見酒のほろ酔い気分にしたって毎日を過してゐると云つても良いでせう。そしてこのような生活感情は時の流からの逃避であるだけではなく今がいつまでも続くと云う夢を夢みさせてゐます。

目先の健保の事とか税の事になると過敏に反応し時には目の色を変えてプロテストする事もありますが、ひとたび「明日の医療は」とか「医療のあり方」などと云へばそんなくだらん話しは物好きポリテクナルな奴の戯言と一笑し、我々はもっとハイクラスのカルチャーに富んだインテリゲンチヤと侮蔑されます。まして選挙の事など話そうものなら送られてくる目差は想像にかたくありません。

ところで今我々が在る型として生活を享受してゐる社会的基盤は我々が無意識にくづれる筈はないと抱いてゐる程強固なものでしょうか。どうもそうとは思へない状況の変化があるように思います。

こんな事を云へば又エレガントな先生方からは存在もしないオバケ(国有化)の姿をみて怯てゐるのだろう、狼少年の話は聞きあきたと云われそうです。しかし今年に入って主に社会党を中心にして提出されてゐる。

I) 医師及び医療機関の救急医療への協力の義務づけ

II) 28%特別措置法の廃止
の出され方をみてゐると安閑としてはゐられません。

御存知の通りマスコミはじめ世論は3K(食管、国鉄、健保)を俎上にのせてその不合理性を大いに喧伝しその合理化、公正化を求めてゐます。

特に健保問題は他の医療問題をもからませてマンチ・ドクターと云う形で問題が提起されてゐます。当初はなる程と頷いてもみましたが、こう執拗に悪意をこめてやられると不感症になりマスコミの医療問題記事など歯牙にもかけなくなっています。

そして今回のこのI) 医師及び医療機関の救急医療への協力の義務づけ。II) 28%特別措置法の廃止の記事も気にもとめず従来からの医療国営論、28%廃止論のむしかえして新味はなくどうせ騒いでも実現しないと多くの先生方はたかをくくつてゐる事です。

このような我々の心にシミついた医政に対する不感症はマスコミの悪意ある態度もさる事ながら我々の団体である日医・或は都医が事あるごとに出してゐた単純な、又ただ単なる反共プロパガンダともとれる国有化反対と云うスローガンにも問題があるようにも思います。このようなスローガ

ンは明治生れ（失礼）の人にはストレートに共感を得る事は出来るかもしれませんが、敗戦を青春時代に経験し屈折した気持をもつ昭和生れにはどうもピンとこないアジテートで問題を真摯に取りあげていない内容のないものと受けとめていました。

このように形ちづくられた無関心の態度は政治状況が変り、I) 医師及医療機関の救急医療への協力の義務づけ。II) 28%特別措置法廃止が現実の政治のプログラムの中に入って来ている時、いってみれば狼がやって来た事態にも眼をおおっていると云った最悪の危険な状況とも云へます。

自由 公正 正義を生活信条とする我々医師は、一党独裁とも云へる自民党長期政権下ではスパイスのつもりで保革逆転を云い、又その方が良いと考へた事もあるかと思ひます。しかし保革逆転が現実の問題となって来た今日の段階では、そんなのきな事は云ってられません。

我々はここで、あらためて医療の自由とは、公正とは、又正義とは何かと云う事を問いなおす必要があります。

過去に於てイギリスの「ゆりかごから墓場まで」の社会政策には魅力を感じ共感した事も事実であり、又北欧の社会福祉政策にも大いに共鳴し範とすべきと考へた事もありました。しかし 1977年の今日では、一時期医療の正義とも考へられたこれらの政策は多くの矛盾をかかえ色あせたものとなっております。

医療の社会主義化こそ医療の善であると云ったラーゼは修正をよぎなくされてゐると考へます。

しかしながら朝日新聞（4月8日）に「揺れる社党に苦言」文化人と執行部が懇談会という記事がありその中でテレビのす遊び番組にも出て来る鈴木武樹明大教授が、（巨大私鉄など基幹産業や不動産産業の国有化を政策として打ち出すべきだ。全国の医師を敵に回して医療問題に取り組み云々…）とのべています。この記事におられるように医療でない多くの人々はまだ医療の社会主義化でしか医療の正義は行われないと考へてゐます。

又今回の参議院選挙に中央社保医療協議会委員の労働側代表としてその論客ぶりを知られた安恒良一氏が総評を基磐として立候補するといわれておりその後援会パンフレットに

中医協委員も十三年になります。痛感するのは医療は公営にしなければイカンと云う事ですね、武見医師会長とやり合っていますが相手がケンカ太郎ですから不足はない。国民のいのちと健康を守るための漸次公営論と、開業システム論の激突なんです。ですから年金をはじめとする福祉問題、医療問題にもっと愛をと云うのが私の…云云の…つてゐます。

一億総批評家時代ともいわれている現在個々の医療問題の矛盾をとりあげて「心のこもった」とか、「愛のある」とかと云う言葉をつかいて話をすれば俗耳に入りやすいと云う事はあるでせう。

現実にはどろどろとした人間関係から先づはじまる医療はヒューマンなモラルを持って日常診療に当たっている全国の医師の真摯な取組みがあってもなおかつ多くの問題があるのです。

医師でない者の精神論やましてイデオロギーでは問題は解決する筈がありません。

世間でよくある型を表現しようとするとき、型はまねる事は出来るが心はまねる事はむづかしい。その事柄になりきらなければ本当の型の表現は出来ないといわれてゐる。小林秀雄の「考えるヒント」の言葉の項に本居宜長の言葉として「姿ハ似セガタク、意ハ似セ易シ」と云う言葉のつてゐる。

安恒氏ならずとも一億国民、総て医師になった積りになる事は容易である。だからといって医療の問題が全てうまくゆくとは限らない。

日医武見会長を始め多くの人達が不退職の快意をもって社会正義としての医療システムを提言する理由がここに存り、又政治の場に我々の代表を送る意義があるのです。

政治は好きもののやる事と他人事に傍観してゐる。マイホーム・マイクリニックの人達にも保革逆転が今回の参議院選挙で実現すれば、その生活は大きく変ると思ひます。たしかに一ぺんに社会主義機構に変革すると云う事はないでせう。

しかし保革が逆転したら、世の中は変わったのだと云う印象づけをする政治的意図は充分考へられます。その具体的政策としては「愛」とか、「血のかよった」とか耳ざわりの良い言葉が手取り早く活用出来る事柄からそれは始まるのでせう。これは美濃部革新都政を視るまでもなく、福祉医療

問題に現われる可能性があります。

世間では日本医師会及農協は日本最大の圧力団体と喧伝してゐます。農協はいざ知らず果して日本医師会はそんな実力ある圧力団体なんでせうか。これはマスコミのくすぐりの虚名であると私は思つてゐます。

私の危惧する弱い医師会であつたとするならば保革逆転の力関係で、保守が妥協を余儀なくされて、しかも資本主義の原則を固守しなければならぬ土壇場に追い込まれたときは、国民的福祉政策への転換の美名のもとに保守もこの医療制度を革新の側に売り渡すと云う事態が考えられます。

まさに医療のスケープゴート、だと思ひます。(田中前総理にゐるまでもなくウィークポイントのあるものは簡単にスケープゴートにされるのが世のならわいなのですから、まして現職の大蔵大臣は28%廃止論者です。)

このような事態でもまだ花見酒に酔つてゐるのでは余りに高い酒代と云えます。

しかしそれも良し。たとえ医療のしくみが変わつたからと云つても世は民主主義の時代だから我々には自由がある、と考へ自由があれば良いのだと考へる人があるかも知れません。しかし現在は意志決定に時間のかかる民主主義には大いにいらだちの気持を持つ空気がかもしだされてゐるらしい

があります。一步あやまれば暗黒の時代に入ると云つた危険な状態とも云えます。此れは先の衆議院選挙の11区の選挙で名もない保守の新人(失礼ですが)がトップで当選したと云つた事実をみればわかります。若し右でも左でも巧妙に操作をしてこのようなふわつとしたムードを吸収すれば民主主義は崩壊する事は明白です。

朝日新聞(4月8日)の日本診断に「第2次大戦中」ルーズベルト米大統領は「4つの自由」一表現の自由、信仰の自由、恐怖からの自由、貧困からの自由を唱へた。日本がいまこの4つの自由をほぼ完全に享受してゐるのに戦勝国の中にはいぜんとして、4つの不自由のどれかに悩まされてゐる国が少なくない。……我々は自由を粗末に扱つてゐるのではないか、抑圧の苦渋をもつと知れ。と松山記者は書いてゐた。

なによりも「個人の尊厳」を大事にし、自由公正正義を信条とする我々インテリゲンチヤは今の事態を直視する必要がある。

自稻ノンポリのエレガントな先生方も自由を歌歌した若き日、インディビリアリズムとエゴイズムとはちがうなどと口角泡を飛ばした頃を思い出し、エゴを捨ててルネ・クレールの映画の題名ではないが“自由を我等に”自由の為に立っていただきたい。

学 術 講 演 会

4月13日(水) 西多摩医師会館にて
演 題 心音(心音図)について
講 師 杏林大学内科 石川 助 教授

要 旨

心音の聴診には性能のよい聴診器を選ぶことが絶対必要である。聴診器には2種類ある

オープンベル型:低音を聞くのによい。

胸壁に軽くあてゝ聞く。

膜型:高音をきくのに適している。膜面を胸壁に強く押しあてゝきく。

心音には、I音、II音、III音、IV音、駆出音、開放音を区別している。

I音:房室弁の閉鎖音(とくに僧帽弁)。

II音:半月弁の閉鎖音(大動脈弁と肺動脈弁)。

III音:心房から心室への血液の流入音。

IV音(心房音):心房の収縮によって心房内に残った血液を心室内に送り込んだ時に生ずる音。

以上の内、特にII音の聴診が重要である。このII音の聴診部位は心基部特に胸骨左縁第2肋間である。II音は半月弁の閉鎖によって発生する。従つて大動脈弁閉鎖による大動脈成分IIAと肺動脈閉鎖による肺動脈成分IIPとからなる。

このII音を構成する2成分IIAとIIPの分裂を次の如く分類している。

1. 正常呼吸性分裂
2. 病的呼吸性分裂

3. 奇異分裂

4. 固定性分裂

正常呼吸性分裂：健康人に見られるもので呼気時には単一なⅡ音が、吸気時に狭い間隔で分裂する現象。この際、前成分がⅡA，後成分がⅡP，幼若年者に明瞭である。

病的呼吸性分裂：前者と同様に吸気によって分裂間隔が広がるが、その幅がもっと広く、呼気時にも分裂しているもの。
肺動脈弁狭窄、僧帽弁閉鎖不全、心室中隔欠損症、フェロー

四徴症、完全右脚ブロックの時に見られる。

奇異性分裂：前者とは逆に分裂間隔が呼気で広く、吸気で狭くなる。

大動脈弁狭窄、完全左脚ブロック等の時に見られる。

固定性分裂：上記3種類はとにかく呼吸によって分裂間隔が変化するが、この場合は呼吸の影響を全く、又は殆んど受けないのが特徴。

心房中隔欠損症に見られる。

このⅡ音の聴診は胸骨左縁第2肋間に於て、軽い呼気時と吸気時に夫々呼吸をとめて注意深く聴診する。
以上（鈴木）

われら ノンポリ

松原貞一

“夏が来て、女の背中 紐だらけ”

きょう日の娘すぐ脱ぎよるなどとテレビや週刊紙でよう宣伝してますのん、ありゃ嘘やとワタシゃ思いますなァ。ウチの診察室に来てみなはれ、そらもう大変なことだっせ。「いかなさいましたかな?」「カゼ引いて咳が出るの。」出るの……とは何ですか、親子ほど年齢の違うオッサン捉まえて。近頃の若い娘と来た日には、下の口の使い方ばかり練習して、上の口のきき方というたら全くなっとらん。頭に来るが患者さんかてお客さん、名医といえども患者さん来んことにはどもならん。ムラムラする気を落ちつけ、「どれ、どれ」と聴心器を耳にはさんでみたりするが、敵サン平気な顔して座ってますねん。医者が聴心器もって「どれ、どれ」といえば、大低何するのんか判りそうなもんになア。仕方がないのでワタシも手にした聴心器置いて、看護婦嬢の手伝いして脱がせにかかるが、これが又大変、アッチ押えコッチ引っ張ったりしての大抵抗、あらかた胸が診られるようになるまで、お互いうっすら汗の出る程の大格闘、ホンマに骨折れますなア。写真でも撮らうとすれば、これ又レントゲン室で一騒動。「これはいいでせう」「それも脱いで」「これも脱ぐの?」

「金具がついているのでせう」一体何しに病院に来たんやろナ。上が上なら下も下でせ。心電図撮らうとすれば先ずパンスト脱がさならんし、今度診療所作る時には更衣室も作っとかんと、今のように便所行って脱いで来なはれなどと言ったんでは、そのうち患者さん来んようになると違いますか。暗いレントゲン室でいくら空気入れても胃膨らましませんで、そっと手のばしてみたらニッパとやらでキューキュー絞め上げとるやないですか。……にくきもの乙女のブラジャー・ガードル etc ……にくきもの、して柔らかくエー格好しとるのに、何であんなもん捲いたりはいたりせんならんのか、ほんとに理解に苦みますなア。たまに満員電車の中で、フンワカしていい感じや思うて握り返ってみましたらアンタ、何と髭はやしたオッサンやったりして、一人で恥かいてますねん。夢も楽しみもないのに、何でみな満員電車乗っとるんやろ。

それにしても、去年新宿で見た「我が青春に悔なし」はよろしゅおましたなア。原節子が走りするとオッパイ、ブランブラン波うって、そりやよろしゅおました。第一彼女の背中縦紐はおろか横線（何のこっちゃ）もあらしまへんでしたぜ。

いつかバーでその話しとったら、「映画館入ってオッチャン何見てんのん、イヤラシなア」などとぬかしおったが、チャンと入場料拂うてみとるんや、どこ見ようとこっちの勝手やんか、なア。

この前、マック・バーネイがでよるとガードルずりおろしたら下に何も出て来ないのでこの娘ノーパンかいなと、そっとのぞいてみたら、奥の方にお義理程度のもんはいとりました。全く変な世の中になりましたヨ。

“探れども、探れども、まだパンツあり”

今時の若いモン、ほんに気の毒やなア、苦労しまっしやろ。私らの頃は

“寝て解けば 帯より長いものはなし”

とて何とも優雅なもんでした。ヤレヤレ、診察室の内も外も先づは脱がせることから始めななりません、何事につけその道に妙なるもの、よろずやんごとなきものなりとは申せ、診察室で上手く行くようになったかて、よろずやんごとなくとは行かぬのが常と違いますか。

会報の原稿書いとりましたら、医師会のエライさんが遊びに来やはりまして、「医師会総力あげ

て参議院選挙、福島はん推さなあかん時、ようそんなアホなこと書いておられますなア。先生と言われる程の馬鹿でなしとはよう言うたもんで、医者ノンポリ、日和見、独り世がりのアンポンタンは今に始まったことではおませんが、アンサンの馬鹿さ加減もチト度が過ぎませ。安恒 120 万、江田三郎も 120 万、福島センセ落ちよるかも知れへん言うとなやで。エー？ナニナニ、カミさんに言われて選挙は江田はんを決めとるやて。アホ違うか、選挙いうもんは人気投票やあらしまへんで、今日何とかカミさん養うて行けるかも知れへんが、アンさんの髪の毛抜け落ちる頃には、日曜日は休日診療、夜は夜で夜間診療に出向を義務づけられ、真赤な目してあっちフラフラこっちフラフラ、租税特別何トカもとっくの昔に廃止となり、カミさん共々お粥すゝらならん時が来るかも知れませんで。夢みる夢は唯喰い物の夢では、夢もヘチマもあらしまへん。よう考えて、アホなこと言わんどいてヤ…………。

ほんに、すまんこってして。

新中国 23 日間見て歩き (第 8 回)

東青梅病院 加 藤 出

昭和 51 年 6 月 2 日 (水)

朝遼寧省工業展覽館見学：中国流の天井の高い大きな建物で、採銘冶金、石炭、電気機械、交通、軽工業、石油化学、線維、衣類、薬品その他この地の産業の状況を展示してあった。終了後乗車、未だ晝食には早いなと思ったら途中から方向を変え、大きな寺院風の所で止った。この団体旅行では細かいスケジュールが前以て知らされず、どこへ行くのかわからないのが欠点だった。しかし招待旅行だからやむを得ないかも知れない。さて下車したところは清朝の北陵といい、北京が清朝の都であり、それに対して北の故郷の方、瀋陽の地に陵を作って北陵としたものという。中規模のもので、派手でなく、年月を経てくすんだ色調の建物であるが、敷石には金の粒がまぜてあるとか、

回廊の屋根の隆屋根は内側に傾斜し、雨も内へ入る様にして、財宝がすべて内に入り、外に流さない様を考えて建ててあるなど、子供じみた点があったが、やはり歴史的、芸術的、建築的に立派な遺産で、人民の為の公園となっており、丁度中国では 6 月 1 日が児童節に当たっていろいろの行事を行い、この日はその代休らしく、多くの小学生が来て、引率の先生らしい人の説明を聴いたり、親達と遊んだりしていた。この東北の地には、いまのところ、訪れる外国人が極めて少いらしく、車が止り、背広の吾々が降りると児童達はすぐに並んで手を叩いて歓迎してくれた。この様な点ではこの国の人々は非常に人なつこく、吾々の行くところでよくこの様な歓迎をしてくれた。これが習慣になっているらしいが、国としても他国の大

統領などが来ると、飛行場で小国民に旗を持たせて歓迎するのが例らしい、頑着ない子供達が自分からする筈はないので、やはり何らかの指導があるのではある。見物終了後宿舎にて晝食、例の如く少憩、午後は瀋陽第一工作機械工場及び関連施設を見学した。

この工場は1935年(昭9)鉱山器械工場として当時の日本の資本で造られたもの、終戦前大破壊を受け、1949年に至り基礎的な工作機械を国に提供、1956年設備拡大を終り、1960年ソ連よりの技術陣その他の引揚に際し、いろいろ困難があったらしいが、研鑽努力、自力更生により高精度のものを作れる様になった。1966年プロレタリア文化大革命、1972年第4次5ヶ年計画、プロ文革、批林批孔運動にて生産増加? 1976年鄧小平批判運動にて予定より大幅に生産増加したという。文革後の10年間は文革前17年間に比較して40%も生産が増加、現在の40種類の製品はすべて自力で設計したもので外国模倣の時代は過ぎたという。私の考えでは年月の差で最近の10余年の方が生産が挙るのは当然で、鄧小平批判で生産が上るとは思えないが、果して四人組が没落してから、今度はその間に生産が極めて阻害されたという。政治情勢によって発言内容も変って来るのが特徴なのだろうか。

工場内を案内されたが、施盤その他色々の大型機械もあり、ベトナム、カンボジア等の東南アジア及びアフリカ方面へも送られているらしい。工場の工員は6800名で20%が女工、家族は総計25000名、その75%が工場の労働者住宅に入り、25%は市営の住宅に入っているという。附属の医院を見たが、工場診療所としては設備はまあまあであった。しかし日本の同種の施設には比ぶべくもない。次いで団地式の4階建住宅を見たが、8畳、4.5畳に台所1坪の2Kで、計算すると約28㎡位らしい。便所は2軒に1ヶあるが、風呂はなかった。月々の家賃は4元60仙(約740円)、暖房費1元40仙、電灯1.2元、水1人当17仙(夫々224円、192円、27円)。この2Kの部屋に夫婦の他老婆1人、18、14、9才の息子3人(他に娘1人あるが農村に居る)計6人が常時住んでいる。主人はクレーンの運転手で収入も良い方らしい。家具はタンス、ミシンが1つ、机が2つ、板

敷の寝たり坐ったりするベットがあり、立って体を充分動かすには少し不自由する位の広さで、物も余りないが、押入もなかった。他に調度と言えは卓上ラジオが1台、毛主席の写真と、家族の写真が壁にかけてある位で、至って殺風景であった。又隣の1軒の家は、8畳に1坪の台所で夫婦と21才の息子1人の3名が住み、夫と息子は工員、妻は飲食店に働いているという。何れも昔には考えられない位良い所に住めるのも毛主席のおかげと例の如きことをきかされた。

工場の給与は1級33元(5.280円)、から8級104元(16.640円)までの8段階で平均は60元(9.600円)だが、3級45.8元(7.328円)が30%、4級54元(8.640円)が25%で過半数を占めている。年令的には20~30才が50%、停年は男60才、女55才で以降は元の60~100%の金額を受け、これは企業が支拂うらしい。又停年退職後も家はそのまゝ入っているという。国営企業の強みなのであろうか。医療費は本人全額、家族は半額企業負担、税金はない上、物価は安定しているので生活は楽であるという。しかし日本の様にボーナスのような制度はなく、政治的な荣誉や名与の品はある。ボーナスは文化革命前はあったということだから、今の人達の心の中ではどうなのだろうか、中国語の出来ない吾々には直接聞くよしもなかった。尚賃金の決定は国が統一して決め、主に低い方から上げるという。その条件は労働愛、大衆との関係、自身の条件を勘案し、これを大衆討議にかけて決定する。これでは少くとも小生の様な日和見、野次馬は大衆討議で批判される方で、給料は上げてもらえまい。悲しいことです。

帰途は夕方になりやつ風が強く、その風に乗って、白い花びらの様な花粉の様なものが吹きすさび、さながら吹雪が降っている様であった。これは柳の種子が柳のわたに包まれたもので柳絮という、タンポポの種子を大きくしたものとそっくりで、柳の枝に固くついていたわたが5月下旬頃に気温が上ると、開いて枝から離れ、風に乗って飛び交うわけで、その量が極めて多く、道路の両脇の浅い溝に径30~50cm位の球になってふわりふわりところがっていた。道を歩いていると柳絮が顔やに当りチクチクするし、目も開けていられな

い位であった。その為、この地の人、殊に自転車に乗った女性は黒い紗の様な布を頸から頭全体をスッポリ被っていた。吾々は車中にいるので、はじめはその意味がわからなかった。柳絮の吹雪といい、女性の覆面といい、少しく風情があって良いと思っていたが、いざまともに顔や手に当たって見ると、余り感じの良いものではなく、紗の必要な意味が理解出来たことだった。中国には柳が多いので各地で何日間かはこの柳絮に見舞われるわけだが、北京ではこれが4月の下旬頃だということから、約320km北にある瀋陽との間に1ヶ月位の差があり、それだけ気温も違うということだろう。

夜は遼寧省友好協会分会主任李氏主催歓迎宴あり例の如き友好の演説の交換と食事と酒の乾盃の連続だったが、小生は臨時胃潰瘍となり、適当に料理を食べ、途中息抜きに写真を撮り、胃粘膜の保護にこれ努めた。そして夜は早々に就寝した。

S 52・6・3(木)：早朝7：30発、約1時間、距離45kmの行程で撫順市に着き、炭鉱の事務所に着いた。この市は炭鉱の街であり、それだけやゝくすんだ、埃っぽい感じのあるところであった。近くに大きな工場はある様だが、特に煤煙が多いわけでもなかった。当市は人口40万、4つの炭鉱と石油製品工場あり、露天堀の炭鉱は石炭とオイルシエルを採掘し、東西6.6km、南北2km、深さ260m、炭層の厚さ80m、オイルシエルの厚さ90mという。1914年日本が開発、62年の歴史があり、

32年間日本が持ち、国民党が3年、1948年に解放、75年には48年に比し生産高は6倍になった由。副産品として琥珀と炭彫品という黒々とした石炭に彫刻したものがあつた。この炭鉱の埋蔵量を質問したところ、炭層の深さ400mまで掘削可能として、現在の生産量で續けて30～40年分あるそうである。

この後斜面のレールに乗ったケーブルカーで炭層を見たが、事務所から見ると全く小さな運搬用の貨車も現場で見ると実に大きく、すり鉢型の露天堀炭鉱も向う側が霞んで見えにくい位の大きさで、何によらず日本国内と違うスケールに驚く外はなかった。しかし石炭そのものは真黒ではなく、やゝ灰色がかっており、無煙炭ではないらしく、事務所で見た炭彫品は特に良いものを使ったのであらう。それでも7000カロリーあるとの説明があつた。炭層の上下には所々オイルシエルの層があり、これは工場で油分を抽出して、石油製品工場に供給しているらしい。

先程事務所で琥珀がとれる話を聞いたが、あとで晝食をとった迎賓館の賣店には土産品として琥珀のブローチやネックレスなどがあり、小生も家内の為めにネックレスを購入して帰つたが、黄褐色の松脂の化石だけでなく、細い石炭粉が入って少し黒っぽい色である為、少しも喜んだ顔をせず、面白くないこと夥しかった。

(つづく)

理 事 会 報 告

理 事 会 (52.3.23)

地区医師会長協議会報告(山田副会長他)

1. 第148回代議員会議決事項について

2. S51年度産業医研修会開催について

○会長会議が医政連支部長会議に切り替わった。

要するに、医療公営阻止の為の斗いである事、福島候補の知名度が少いので頑張らねばならぬ事、この為の資料を渡す事等が論ぜられ、都医臨時会費千円、医政連臨時会費千円、日医臨時会費5千円、を5月中に集められる事になった。

○S51年度敷地拡張資金特別会計予算(案)(江本)

収入は6・9ヶ月乳児検診より10,400,904円、埼銀よりの借入金を含め、36,140,174円 銀行返

氏名 島田 均
勤務先 青梅市立総合病院

20日 保健所連絡会
22日 都医代議員会
27日 都医地区会長会

氏名 岡本 暁
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 立野一郎
勤務先 青梅市立総合病院

会員通知

- 計量器使用事業場の廃止届について
- 春季運転者講習会開催について
- 定時総会開催通知

(添付書類)

- ① 51年度各部事業報告書
- ② 51年度歳入歳出予算追加補正
- ③ 52年度各部事業計画書
- ④ 52年度歳入歳出予算案
- ⑤ 都医代議員、予備代議員立候補者名簿
- ⑥ 財産目録

会議

- 4月13日 定款委員会
- 14日 会報委員会
- 19日 総務部会
- 20日 理事会
- 23・24日 管外役員会

- 阿伎留病院ヤンフェレンス
- 総合資料訂正と追送について
- 休日夜間診療医療機関の当番表送付について
- 休日診療案内用電話番号の変更について
- 学術講演会案内
- 医療金融公庫の直接貸付の取扱いについて
- 会報
- 51年度定時総会報告

講演会・その他

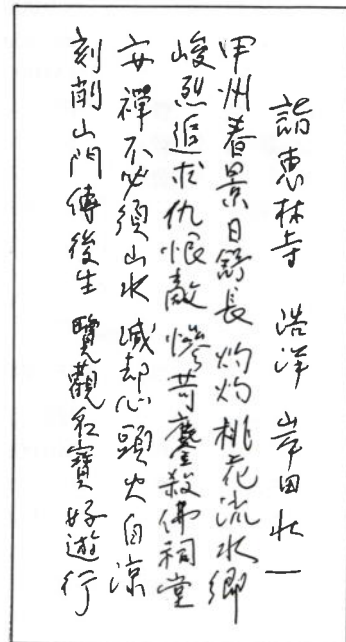
- 4月13日 学術講演会
- 13日 法律相談
- 13日 本母西多摩支部総会
- 26日 奇術部例会

役員出張

- 4月6日 北多摩准看入学式

囲碁部急報 !!

先月号で予告しました、プロ棋士指導基会は、都合により、変更して、6月19日(日)実施となりましたのでお知らせ致します。指導料は1人1局 3,000円です。ご希望の方は、遠慮なく、甲斐(電話 0428-22-2517)迄お申込み下さい。



昭和52会計年度歳入歳出予算(案)

歳入の部

社団法人 西多摩医師会

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	摘 要
(1)会 費	23,320,000	19,780,000	3,540,000	
A 会 費	20,520,000	16,340,000	4,180,000	公立病院 青 梅 700,000 福 生 500,000 阿伎留 400,000 奥多摩 230,000 私立病院 250,000×4 230,000×11 公立診療所 140,000×1 70,000×3 医院・診療所 230,000×7 210,000×15 180,000×16 150,000×18 110,000×24 90,000×16 50,000×7 20,000×2
B 会 費	600,000	540,000	60,000	20,000×30
入 会 金	2,200,000	2,900,000	△ 700,000	病院1・診療所1
(2)繰 越 金	4,000,000	4,678,254	△ 2,678,254	
前年度繰越金	4,000,000	4,678,254	△ 2,678,254	
(3)雑 収 入	4,050,000	4,065,000	△ 15,000	
手 数 料	200,000	150,000	50,000	日・都医会費徴収手数料
寄 付 金	10,000	10,000	0	
会 報 告 料	120,000	200,000	△ 80,000	
予 防 接 種 協 力 費	3,600,000	3,600,000	0	
雑 収 入	20,000	5,000	15,000	
預 金 利 子	100,000	100,000	0	
歳 入 総 額	31,370,000	30,523,254	846,746	

歳出の部

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	摘 要
(1)会 議 費	1,800,000	1,550,000	250,000	
渉 外 費	500,000	500,000	0	
会 長 交 際 費	500,000	500,000	0	
需 要 費	1,300,000	1,050,000	250,000	
総 会 費	450,000	400,000	50,000	総会3回
役 委 員 会 費	200,000	200,000	0	役委員研修旅行補助
雑 費	650,000	450,000	200,000	会議用諸雑費
(2)人 件 費	12,887,000	11,272,000	1,615,000	
職 員 給	10,547,000	9,232,000	1,315,000	
俸 給	6,636,000	5,988,000	648,000	原田 120,000・坂元 120,000 藤田 90,000・青木 108,000 岸田 85,000・鈴木 30,000
諸 手 当	3,911,000	3,244,000	667,000	職階手当 原田35,000・坂元18,000 賞与 精勤手当 家族手当等
職 員 厚 生 費	790,000	690,000	100,000	
保 險 料	640,000	540,000	100,000	
福 祉 厚 生 費	150,000	150,000	0	
交 通 費	1,550,000	1,350,000	200,000	
役 委 員 旅 費	1,050,000	850,000	200,000	
事 務 員 旅 費	250,000	250,000	0	
通 勤 費	250,000	250,000	0	

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	摘 要
(3) 事務所費	1,330,000	1,280,000	50,000	
宮 繕 費	100,000	100,000	0	
備 品 費	300,000	500,000	△ 200,000	
公課保険料	390,000	300,000	0,000	火災保険料 固定資産税
需 用 費	540,000	380,000	160,000	
光 熱 水 道 費	260,000	200,000	60,000	
衛 生 費	50,000	40,000	10,000	
食 糧 費	130,000	90,000	40,000	
雑 費	100,000	50,000	50,000	
(4) 事業費	7,600,000	7,050,000	550,000	
A 総務部費	3,000,000	2,980,000	20,000	
涉 外 費	750,000	800,000	△ 50,000	関係団体 諸官庁等
需 用 費	2,250,000	2,180,000	70,000	
印 刷 費	450,000	480,000	△ 30,000	
通 信 費	1,500,000	1,500,000	0	
事 務 用 品 費	50,000	200,000	△ 150,000	
函 書 費	200,000	0	200,000	
雑 費	50,000	0	50,000	
B 保険部費	1,250,000	1,070,000	180,000	
旅 費	550,000	500,000	50,000	社保審査会 整備会
涉 外 費	300,000	250,000	50,000	国保懇談会等
研 修 費	100,000	70,000	30,000	
需 用 費	300,000	250,000	50,000	
C 学術部費	570,000	530,000	40,000	
涉 外 費	50,000	10,000	40,000	多摩医学会出席補助
研 修 費	470,000	470,000	0	学術講演会 研究会
負 担 費	50,000	50,000	0	多摩医学会
D 福祉部費	670,000	560,000	110,000	
研 修 費	20,000	20,000	0	
厚 生 費	630,000	520,000	110,000	新年会 同好部会 家族従業員旅行補助
涉 外 費	10,000	10,000	0	
需 用 費	10,000	10,000	0	
E 経理部費	40,000	40,000	0	
需 用 費	40,000	40,000	0	
F 広報部費	1,600,000	1,600,000	0	
印 刷 費	1,400,000	1,400,000	0	
旅 費	100,000	100,000	0	
調 査 費	100,000	100,000	0	
G 産業医部費	50,000	50,000	0	
研 修 費	20,000	20,000	0	
涉 外 費	20,000	20,000	0	
需 用 費	10,000	10,000	0	
H 公衆衛生部費	300,000	100,000	200,000	
研 修 調 査 費	200,000	50,000	150,000	
需 用 費	100,000	50,000	50,000	

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	摘 要
I 学校医部費	120,000	120,000	0	
研 修 費	50,000	50,000	0	
需 用 費	60,000	60,000	0	
涉 外 費	10,000	10,000	0	
(5) 諸 支 出	6,695,000	8,182,000	△ 1,487,000	
諸 支 出	5,965,000	7,512,000	△ 1,547,000	
補 助 費	315,000	315,000	0	地区会補助等
慶 弔 費	50,000	50,000	0	
繰 出 金	5,600,000	7,147,000	△ 1,547,000	
積 立 金	730,000	670,000	60,000	
積 立 金 (1)	530,000	470,000	60,000	職員退職金引当
積 立 金 (2)	200,000	200,000	0	会館償却引当
(6) 予 備 費	1,058,000	1,189,254	△ 131,254	
予 備 費	1,058,000	1,189,254	△ 131,254	
歳 出 総 額	31,370,000	30,523,254	846,746	

昭和 52 年 3 月 日 提出承認

社団法人 西多摩医師会

会 長 高 水 武 夫 ㊟

会 計 理 事 江 本 虎 雄 ㊟

福 島 大 寿 ㊟

平 林 信 隆 ㊟

今 川 武 ㊟

理 事 職 務 分 掌 表

高 水 会 長	瀬戸岡副会長	総 務 部	内 山	今川, 箱崎, 西村, 江本
		福 祉 部	川 崎	内山, 百瀬, 今川, 中林
		経 理 部	江 本	今川, 平林, 福島, 内山
		保 険 部	箱 崎	西村, 川崎, 宮川, 平林, 速水
	山 田 副 会 長	広 報 部	大 河 原	松原, 平林
		学 術 部	西 村	大橋, 蓮沼, 松原, 大河原
		公衆衛生部	松 原	箱崎, 西村, 中林, 宮川, 蓮沼
		学 校 医 部	福 島	川崎, 大河原, 百瀬, 速水
	産 業 医 部	速 水	蓮沼, 福島, 中林, 宮川	

西多摩医師会 S 52. 4. 20

前回参議院選挙得票決定一覧表

地 域	医師会名	A会員数	A会員数 小 計	前回得票数 37年11月1日	今回得票数 49年7月7日	今回1会員当り 獲得票数平均
千代田区	千代田区 神田区	116 134	250	700	526	2.10
中央区	中央区 本橋区	144 114	258	745	557	2.15
港区	港区	343	343	998	986	2.87
新宿区	新宿区	398	398	2,379	2,054	5.16
文京区	文京区 小石川	123 101	224	1,610	1,123	5.49
台東区	台東区 浅草	141 160	301	2,091	1,668	5.54
墨田区	墨田区 向島 本所	60 83 69	212	1,206	1,156	5.45
江東区	江東区 深川	116 101	217	1,391	1,229	5.66
品川区	品川区 荏原	203 165	368	1,664	1,867	5.07
目黒区	目黒区	293	293	1,813	1,612	5.50
大田区	大田区 調布 蒲田	193 165 235	593	4,208	3,134	5.28
世田谷区	世田谷区 玉川	529 160	689	4,284	4,167	6.04
渋谷区	渋谷区	321	321	1,209	1,470	4.57
中野区	中野区	370	370	2,165	1,733	4.68
杉並区	杉並区	536	536	2,785	2,350	4.38
豊島区	豊島区	384	384	2,996	1,886	4.91
北区	北区 王子	258 42	300	2,178	1,723	5.74
荒川区	荒川区	175	175	1,297	1,500	8.57
板橋区	板橋区	284	284	1,828	1,553	5.46
練馬区	練馬区	362	362	1,857	2,261	6.24
足立区	足立区	321	321	916	1,149	3.57
葛飾区	葛飾区	290	290	2,706	2,111	7.27
江戸川区	江戸川区	233	233	2,373	1,615	6.93
武蔵野市	武蔵野市	133	133	716	779	5.85
三鷹市	三鷹市	110	110	479	500	4.54
府中市	府中市	108	108	717	718	6.64
調布市	調布市	112	112	257	1,200	10.71
町田市	町田市	154	154	1,051	1,267	8.22
北多摩地区	北多摩地区	678	678	2,528	3,444	5.07
南多摩地区	南多摩地区	302	302	1,857	1,793	5.93
西多摩地区	西多摩地区	109	109	1,255	1,478	13.55
島部	島部			51	59	
合 計			9,428	54,310	50,776	

西多摩地区

	前回得票数 (37.11.1)	今回得票数 (49.7.7)
青梅市	569	331
奥多摩町	93	79
福生市	105	210
瑞穂町	76	210
羽村町	157	282
秋川市	49	155
五日市町	90	126
日の出町	41	52
檜原村	75	33
計	1,255	1,478

昭和52年3月7日発行

発行所 西多摩医師会

東京都青梅市西分3-103

TEL (0428) 23-2171(代)

会報編集委員 大河原 周 平林 信隆
松原 貞一 堤 次雄
吉野 住雄 鈴木 修
土田 守一 波田野洋夫

くらしの知恵と情報を

ホームバンクの埼玉銀行



埼玉銀行

青梅支店 (TEL0428-22-1101)

福生支店 (TEL0425-51-1021)

東青梅支店 (TEL0428-22-2121)

村山支店 (TEL0425-61-1211)

奥多摩支店 (TEL04288-3-2515)

五日市支店 (TEL0425-95-1311)